

時代を問わず、医療従事者たちは奮闘していた

昔から人びとは病気や疫病に対して呪術、神符を使った病気への対処や薬での治癒法など様々な方法で闘ってきました。

本企画展は、「口之津と医療」をテーマに、江戸から明治の医師や民衆たちがどのような病気や疫病（流行病）に悩まされ、取り組んできたのか、古記録や診断書、医療器具から紹介します。

2020.9.29(火) - 12.20(日)

会場：南島原市口之津歴史民俗資料館

(口之津港ターミナルビル 2F)

長崎県南島原市口之津町丙 4358 番地 6

開館時間：9：00～17：00（最終入館 16：30）

休館日：毎週月曜日

問い合わせ：南島原市教育委員会文化財課

Tel:0957-73-6705

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場制限を行う場合があります。

令和二年度南島原市口之津歴史民俗資料館企画展

村

医

が残した

医

の記録

明治の診断書
三病名天然痘
右本日午後二時三死に仕候二付及中届三候也
療患者全治届
當村全屋名全安
桑山村九日届済
本日全治仕候二付

見どころ展示資料紹介!

医師の収入減少?薬代未徴収… 「済衆館雑録」

呪術、神符で疫病退散!

明治時代の天然痘流行

「拔萃録」

「明治の診断書」